

# 令和4年 夏の交通安全県民運動実施要綱

- 《実施期間》 令和4年7月11日（月）から7月20日（水）までの10日間
- 《目的》 県民一人ひとりが、安全を第一に考え、交通ルールの遵守と交通マナーの実践に努めることにより、交通事故防止を図る
- 《スローガン》 安全を つなげて広げて 事故ゼロへ
- 《運動の重点》
- 1 横断歩行者の安全確保
  - 2 自転車と二輪車の安全利用の推進
  - 3 飲酒運転等危険運転の根絶
  - 4 各市町交通安全対策協議会等が決定する事項



## 《統一主要行事》

行事名	実施日	内 容
運動初日広報 街頭指導の日	7月11日 (月)	本運動の開始を広報し、期間中に行われる各種活動への取組意識を高め、県民の交通安全意識の高揚を図る。
飲酒運転等 危険運転根絶の日	7月15日 (金)	「飲酒運転をしない・させない」環境づくりを推進するとともに、妨害運転（いわゆる「あおり運転」）を未然に防ぐ「思いやり・ゆずり合い」の気持ちを持った運転の必要性に関する広報啓発を推進する。
横断歩行者等 安全対策強化の日	7月19日 (火)	運転者には、横断歩道における歩行者優先義務の徹底を、歩行者には、横断歩道等の正しい利用や信号無視等の危険性の周知を図り、交通ルールの遵守を促す。

# 運動の重点に関する主な推進事項

## 横断歩行者の安全確保

- 1 子供が日常的に集団で移動する通学路や通園路等における見守り活動等の推進
- 2 高齢者自身が加齢に伴って生ずる身体機能の変化を理解し、安全な行動を促すための参加・体験・実践型の交通安全教育の推進
- 3 「しずおか・安全横断3つの柱」(①手を上げる・差し出す、運転者に顔を向けるなどして運転者に対して横断する意思を明確に伝え、②安全を確認してから横断を始め、③横断中も周りに気をつけること)等の実践による横断歩道の適正利用と信号無視等や横断禁止場所横断などの危険性の周知
- 4 運転者に対する歩行者保護意識の徹底を図るための交通安全教育と啓発の推進

## 自転車と二輪車の安全利用の推進

- 1 自転車の安全利用
  - (1) 「自転車安全利用五則」を活用した通行ルールの遵守と交差点での一時停止等安全利用の周知
  - (2) 定期的な点検整備による安全性を確保した自転車の利用及びヘルメットの着用促進
  - (3) 「静岡県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の周知による自転車損害賠償保険等への加入促進
  - (4) 自転車事故抑止対策の推進  
自転車による交通事故防止を図るため、「しずおか・自転車事故防止3つの柱+1(プラスワン)」(①:交差点では周りに気をつける ②:一時停止場所では確実に停まる ③:急がずゆっくり走る「+1プラスワン」(高齢者対象):アシスト自転車の特性(加速・車重)を理解する)の周知・実践
- 2 二輪車の安全利用の推進
  - (1) 二輪車の特性を踏まえた安全指導
    - ア 二輪車の走行実態や交通事故の発生状況を踏まえた交通安全教育の推進
    - イ 体で安定を保ちながら走行することや、停止すれば安定性を失うなど、構造上の特性を踏まえた交通安全教育の推進
  - (2) 被害軽減対策の重要性に関する広報啓発活動の推進
    - ア ヘルメットの着用等基本的な交通ルールを遵守することの重要性についての広報啓発活動の推進
    - イ 体の露出を抑えた服装の徹底と、エアバッグジャケットやプロテクターの着用に関する広報啓発活動の推進
  - (3) 行楽期における二輪車事故防止に向けた広報啓発活動の推進

## 飲酒運転等危険運転の根絶

- 1 飲酒運転の根絶
  - (1) 交通事故被害者等の声を反映した広報啓発活動等による、飲酒運転等を絶対に許さない環境作りの推進
  - (2) 飲食店等における運転者への酒類提供禁止の徹底及びハンドルキーパー運動の促進
  - (3) 飲酒運転の悪質性・危険性の理解と飲酒運転行為を是正させるための運転者教育の推進
  - (4) 自動車運送事業者等の点呼時におけるアルコール検知器使用等、飲酒運転根絶に向けた取組の実施
- 2 妨害運転の防止
  - (1) 妨害運転(いわゆる「あおり運転」)の悪質性・危険性や罰則強化の周知徹底
  - (2) 「思いやり・ゆずり合い」の気持ちを持った運転の必要性、ドライブレコーダーの普及促進等に関する啓発の推進
- 3 ながら運転の防止  
スマートフォン等を使用しながら車両を運転する危険性と罰則強化の周知徹底

## 各市町交通安全対策協議会等が決定する事項

各市町交通安全対策協議会等が策定する年間事故防止重点を中心とした対策の推進